

6月14日(日)「第34回北斗賞」(BG3)の結果 ～ツガルノヒロイモノ号が悲願の初制覇を飾る！～

2026年6月14日(日)に行われた「第34回北斗賞」(3歳以上オープン・BG3)は、ツガルノヒロイモノ号が末脚鋭い走りで後続を突き放し、重賞初制覇を飾りました。

馬場水分0.9%で行われた本レース。スタートから各馬一斉に飛び出し、キングフェスタ号、ツガルノヒロイモノ号、オーシャンウイナー号の3頭が勢いよく横並びで第一障害を越えていきます。道中は先頭を行くキングフェスタ号、ツガルノヒロイモノ号が先行。中間点辺りで息を入れる2頭を横目にコマサンエース号が先頭に立ちレースを引っ張りますが、後続も大きく遅れる馬はおらず、第二障害下にはコマサンエース号と差を詰めたクリスタルコルド号がほぼ同時に到達します。

第二障害手前でじっくりと息を入れたのち、コウテイ号、コマサンエース号、クリスタルコルド号の3頭が同時に仕掛けます。コウテイ号、クリスタルコルド号が登坂途中で脚が止まるなか、コマサンエース号が先頭でクリア。クリスタルコルド号、ツガルノヒロイモノ号が続きます。

残り30mに差し掛かるところで先頭を行くコマサンエース号にツガルノヒロイモノ号が強襲。鋭い末脚で一気に先頭に躍り出ると、後続とのリードを広げ脚色鈍ることなく力強くゴール。重賞19回目の挑戦で悲願の初制覇を飾りました。

2着にはコマサンエース号が入り、3着にはクリスタルコルド号が入りました。

ツガルノヒロイモノ号を管理する長部幸光調教師は「北斗賞」を初制覇。騎乗した鈴木恵介騎手はニシキダイジン号で制した2011年以来4度目の制覇となりました。

記

<ツガルノヒロイモノ号のプロフィール> ※2026年6月14日現在

生年月日・毛色：2019年5月4日(牡7歳・栗毛)

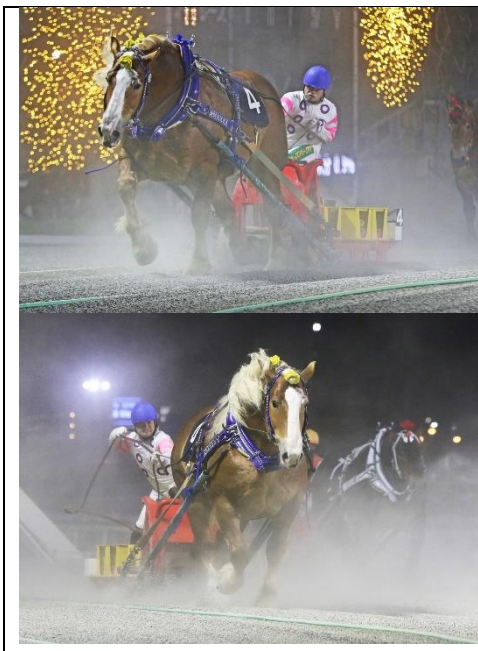
血統：父 スピードフジ 母 フジノミュキ (母父) ブラックジョージ

生産者：守屋 博氏

馬主：竹内 宏人氏

厩舎：長部 幸光厩舎

通算成績：109戦36勝(うち重賞1勝)



【鈴木恵介騎手のコメント】

この馬の重賞初制覇なので本当に嬉しいです。いつも春先は調子が良くない感じですが、前走で第2障害をぎりぎりひと腰で上がってくれる良さを教えてくれたので、今日のレースでも障害をさらにうまく上げようと思ってレースに挑みました。手応えは道中で本当に良く、障害下でも行きたがる様子を見せたのでうまく障害を上がればなんとかなると思っていました。障害は天板で少し苦しいそぶりを見せましたが、なんとか上がってくれました。障害を下りてから良い脚を見せてくれましたが、ゴール前で甘い部分もあるのでどこまで保つかなと思いつつ騎乗していました。今日は初重賞を取ることで、本当にファンの皆さんのおかげだと思っています。これからもまだ重賞をいろいろ取れるように頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします。

--	--

以 上

<報道関係者 各位>

ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

なお、掲載の写真等をご使用の際は【提供：ばんえい十勝】のクレジットの記載をお願いいたします。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾

〔電話〕帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30～18:15 ナイター開催日（土・日・月）12:30～21:15

〔ばんえい十勝公式ホームページ〕 <https://www.banei-keiba.or.jp/>